



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月12日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL http://www.taiyo-bussan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5946-8000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績 (2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	4,146	△4.0	△6	—	△21	—	△10	—
2020年9月期第1四半期	4,319	5.6	△16	—	△30	—	△30	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△7.93	—
2020年9月期第1四半期	△23.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第1四半期	7,490	△171	—	△128.82
2020年9月期	7,601	△158	—	△119.26

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 △171 百万円 2020年9月期 △158 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—				
2021年9月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,051	1.6	70	—	12	—	7	—	5.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1 Q	1,328,219 株	2020年9月期	1,328,219 株
② 期末自己株式数	2021年9月期1 Q	753 株	2020年9月期	753 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1 Q	1,327,466 株	2020年9月期1 Q	1,327,466 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済は、昨年1月頃から顕著になった新型コロナウイルスの世界的な蔓延で、経済活動の先行が見えない状況の中、当該第1四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商品である食肉関連では、新型コロナウイルスの影響で、外食産業が振るわなかったことにより、牛肉並びにタイ加工品は、売上高が減少いたしました。鶏肉ではオリンピックの延期による在庫過剰感にも落ち着きがみられてきたことにより、取扱数量・売上高ともに増加となりました。

農産品では、玄蕎麦は産地価格の高騰や、国内市況の影響で取扱数量・売上高とも減少しましたが、大豆並びに緑豆は順調に取扱数量・売上高を伸ばすことができました。また、前期から取引を始めた中国のネット事業者向け商材の販売が中国の潜在需要の高さもあり、取引を大幅に伸ばすことができました。

輸入豚肉に関しては、商流等の変更があり、新たな商材に取り組んでおりますが、コロナ禍での営業活動が十分果たすことができず、取扱数量・売上高とも減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は41億46百万円(前年同四半期累計期間比4.0%減)、営業損失6百万円(前年同四半期累計期間は営業損失16百万円)、経常損失21百万円(前年同四半期累計期間は経常損失30百万円)、四半期純損失10百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失30百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

鶏肉は、新型コロナウイルスの影響もありましたが、オリンピックの延期による在庫過剰感にも落ち着きがみられてきたことにより、取扱数量・売上高ともに増加となりました。しかしながら、外食産業への販売をメインとしている牛肉並びにタイ加工品は、産地価格の高騰もあり、新規メニューの販売は開始できたものの、売上高は減少いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、26億69百万円(前年同四半期累計期間比4.4%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、産地価格の高騰や、国内市況の影響で玄蕎麦が取扱数量・売上高とも減少しましたが、大豆並びに緑豆は順調に売上高を伸ばすことができました。また、前期から、取引を始めた中国のネット事業者向け商材の販売が中国の潜在需要の高さもあり、輸入品や国産品のアイテムを増やすこともでき、取引を大幅に伸ばすことができました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、14億72百万円(前年同四半期累計期間比111.2%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、商流等の変更があり、新規商材の開拓に邁進しておりますが、新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限されていることもあり、当初の予定が実行できず、取扱数量・売上高とも減少となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、4百万円(前年同四半期累計期間比99.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、現金預金及び商品等の減少等に伴い、前事業年度末に比べ1億10百万円減少し、74億90百万円となりました。

負債につきましては、支払債務及び借入金の減少等により前事業年度末に比べ98百万円減少し、76億61百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上及び為替予約の時価評価益の減少等により前事業年度末に比べ12百万円減少し1億71百万円の債務超過となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月27日公表の「2020年9月期 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,470,162	677,000
受取手形及び売掛金	2,267,223	3,703,166
商品	2,865,288	2,112,933
その他	402,841	396,925
流動資産合計	7,005,516	6,890,026
固定資産		
有形固定資産	266,890	271,233
無形固定資産	15,021	13,979
投資その他の資産	314,242	315,450
固定資産合計	596,154	600,663
資産合計	7,601,671	7,490,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,660	620,319
短期借入金	6,501,858	6,426,071
未払費用	283,550	283,992
その他	110,987	165,510
流動負債合計	7,596,057	7,495,893
固定負債		
退職給付引当金	123,066	124,666
その他	40,870	41,139
固定負債合計	163,937	165,806
負債合計	7,759,995	7,661,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,807,742	△2,818,273
自己株式	△969	△969
株主資本合計	△156,819	△167,350
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,504	△3,660
評価・換算差額等合計	△1,504	△3,660
純資産合計	△158,323	△171,010
負債純資産合計	7,601,671	7,490,689

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,319,898	4,146,111
売上原価	4,195,556	4,045,355
売上総利益	124,342	100,756
販売費及び一般管理費	140,476	106,836
営業損失(△)	△16,134	△6,080
営業外収益		
為替差益	2,962	—
受取賃貸料	2,769	2,744
助成金収入	—	860
その他	74	623
営業外収益合計	5,806	4,228
営業外費用		
支払利息	17,602	15,292
為替差損	—	1,658
その他	2,785	2,484
営業外費用合計	20,387	19,435
経常損失(△)	△30,715	△21,287
特別利益		
固定資産売却益	—	16,299
特別利益合計	—	16,299
特別損失		
本社移転費用	—	4,792
特別損失合計	—	4,792
税引前四半期純損失(△)	△30,715	△9,780
法人税、住民税及び事業税	481	481
法人税等調整額	△252	269
法人税等合計	229	750
四半期純損失(△)	△30,945	△10,531

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナ新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年10月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,555,307	696,872	1,067,719	4,319,898	—	4,319,898
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,555,307	696,872	1,067,719	4,319,898	—	4,319,898
セグメント利益又は損失 (△)	33,228	△9,866	10,018	33,380	△49,515	△16,134

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△49,515千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2020年10月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,669,371	1,472,399	4,340	4,146,111	—	4,146,111
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,669,371	1,472,399	4,340	4,146,111	—	4,146,111
セグメント利益又は損失 (△)	19,020	27,115	△7,396	38,739	△44,819	△6,080

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,819千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。